



11月はいばらき教育月間!

子どもたちの教育の場は、学校だけではありません。
家庭・学校・地域社会全体が、子どもたちにとって学びの場です。
それぞれの役割について、「いばらき教育月間」に考えてみませんか。



「いばらき教育月間」 ってなあに?!

教育に対する関心と理解を深める機会として、毎年十一月一日を「いばらき教育の日」、十一月を「いばらき教育月間」としています。

教育の日を含む教育月間には、県や市町村、各種団体などが主体となり、さまざまな取り組みが行われます。これらの活動やイベントに参加して、家庭や地域で改めて、教育を見直してみたいかがでしょうか。

「いばらき教育月間の四つのテーマ」

◆地域の教育力の向上

「あいさつ・声かけ運動」
あいさつや声かけをし、地域社会全体で青少年の健全育成を推進します。

◆家庭の教育力の向上

「家庭の日」の推進
「家庭の日」(毎月第二日曜日)の普及を推進し、十一月に「家庭の日」フォーラムを実施します。

◆地域に開かれた学校づくり

「学校公開」
保育所、幼稚園、小・中・高・特別支援学校で授業や学校行事などを公開します。

◆学校・家庭等における心の教育

「さわやかマナーアップキャンペーン」
子どもたちがPTAや地域の皆さんと、公共マナーの向上を呼びかけます。

「いばらき教育の日」 記念推進大会開催

第十回となる大会では、「いばらき教育の日」シンボルマークの表彰、児童生徒の善行表彰、優秀教員の表彰、青少年の主張、パネルディスカッション、講演などが行われます。

「いばらき教育の日」記念推進大会

◆開催日時 十一月一日(日) 午前十時から

◆会場 県立県民文化センター

◆講演

テーマ「日本の教育を考える〜LINE〜
な時代をどう生きるか〜」

◆講師

藤原和博氏(大阪府特別顧問、東京学芸大客員教授)
杉並区立和田中学校で、義務教育では都内初の民間人校長の経歴を持つ。



「いばらき教育の日」 シンボルマークが決定!

「いばらき教育の日」を、より県民の皆さまに身近なものとするために応募総数1,079点の中から決定しました。



デザイン: 塚本光さん
(つくばビジネスカレッジ専門学校 2年)

問 県生涯学習課
029(030)15313 FAX 029330

「いばらきものづくり教育フェア」開催

子どもたちにさまざまな体験の場を提供することで、自己の可能性に気づき、希望を持って未来を築いていけるようにするとともに、ものづくり教育・職業教育の充実を図り、産業大県いばらきを支える人材を育成していくことを目的に開催します。

このフェアでは、小・中学校・専門高校・特別支援学校などの児童生徒が、日ごろの学習成果の発表や展示などを行います。また、ものづくり競技大会優勝者のプレゼンテーション、表彰式が行われます。皆さまのご来場をお待ちしています（入場無料）。

「いばらきものづくり教育フェア」

◆開催日時

十一月二十七日（金） 十時から十六時
二十八日（土） 十時から十五時

◆会場

つくばカレオ

◆内容

ロボット、料理などのコンテスト。農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉の各分野の展示・体験コーナーなど。

※創造アイデアロボットコンテスト

十一月十四日（土）から十五日（日）
下妻市立総合体育館で開催

あなたのためのおべんとワークショップ

十一月十四日（土）
下妻市立千代川中学校で開催

いばらきものづくり教育フェア
ものづくり競技大会優勝者紹介

※八月二十一日に事前審査会で決定

「めざせ!!」木工の技「チャンピオン部門」
桜川市立大和中学校 三年 真崎諒さん

木工の技は、「ひのきの手おけ」を九十分以内で完成させます。真崎さんは、自ら志望し競技に参加、夏休みも練習を重ね優勝しました。「理工系の大学に進学し、機械系の仕事に就きたい。ものづくりが大好きですから」とのこと。現在も、関東甲信越地区大会に向けて、練習を積んでいます。



真剣に作業に取り組む真崎さん

「豊かな生活を創るアイデアバッグ部門」
高萩市立高萩中学校 二年 安達菜奈美さん

自分でデザインしたバッグを三十分三十分以内に製作し、作品とレポート、基礎縫いで審査されました。安達さんのバッグは、自身の幼少期の服で作った幼児向けのバッグ。「幼児が使いやすいようポケットを工夫しました。」



笑顔でバッグを作る安達さん

学校林を活用した「自然体験活動事業」 銚田市立野友小学校



野友小学校は、文部科学省の豊かな体験活動推進事業「ふれあい応援プロジェクト」の推進校です。このプロジェクトは、世代間交流や動植物の育成を通じて感性をはぐくみ、命の大切さを学ぶ体験活動プログラムを実施します。

児童数74人、学校の周辺には1.6ヘクタールの学校林がある野友小学校は、こ

の学校林を体験活動に活用しています。学校林には、間伐材を利用して保護者と地域住民で作ったアスレチックがあります。また一人ずつ好きな木を選び、「僕の木・私の木」として、自分の名前、木の名前、その木が好きな理由を書いたプレートを付けています。学校林は、子どもたちの触れ合いと成長の場になっています。



学校林の中で遊ぶ子どもたち

☎ 県義務教育課 029(301)5226 ☎ 5239 県高校教育課 029(301)5260 ☎ 5269

詳しくは [いばらき教育の日](#)

ハッスル黄門の
全国漫遊記



これまで京都（七月）や海ほたる（八月）など、ぶらり旅を続けてきた黄門様ですが、とうとう北海道に上陸し、沖繩を目指して本格的な漫遊の旅がスタートです。

北海道では、九月二十八日から札幌で開催した、いばらきPR展に登場。お客さんとの写真撮影はもちろんです。いばらき夢ガイドと一緒に新聞社やテレビ局からたくさん取材を受け、大忙しでした。

「コシヒカリやサツマイモなど北海道で人気の茨城県産品や、四季折々の景色が楽しめる袋田の滝など、茨城の魅力を生懸命伝える黄門様の姿に、みんな真剣に耳を傾けていました。黄門様の姿をテレビで見ているのに来てくれた方もいたくらい。今回のPR展を通じ、たくさんの方々が茨城を身近に感じてくれたことでしょうか。」

次回は、ゆるキャラまつり（滋賀県）の様子をお伝えします。お楽しみに。



取材に答え、県産品をPRする黄門様と夢ガイドの大澤さん

☎ 県企画課 029(301)20023
029(301)20033